

大垣西濃信金、3月期決算

経常利益15%増

大垣西濃信用金庫が16日発表した2023年3月期決算は、有価証券関係損益の改善や業務効率化による経費削減により、経常利益は前期比15・2%増の13億9700万円だった。

本業の収益力を示す実質業務純益は14・3%増の17億9600万円。一方、不良債権処理額の増加などで法人税が増えて純利益は2・2%減の9億500万円だった。

期末貸出金残高は住宅ローンが堅調で0・4%増の3558億3千万円。期末預金残高は0・5%減の7708億500万円だった。

健全性の指標となる自己資本比率は1・06%上昇の14・24%。金融再生法ベースの不良債権比率は0・46%上昇の4・41%だった。

(宮本寛)